

平成 24 年 6 月 26 日  
国土交通省中部地方整備局  
豊橋河川事務所

## お 知 ら せ

1. 件名 官民共働による特定外来種（オオキンケイギク）駆除について
2. 概要 目的 : 矢作川沿いに繁茂しているオオキンケイギクの駆除を行うことで、矢作川固有の自然環境を保全するとともに、環境問題に対する意識向上をねらう。作業は、地元の住民（ボランティア、漁協）と自治体（碧南市）、河川管理者（国土交通省）の協働による。  
  
日時 : 平成 24 年 6 月 27 日（水）10 時～12 時  
場所 : 矢作川右岸 1.6km 付近（碧南市前浜町。国道 247 号線 矢作川大橋から河口へ約 1km の地点※別添地図参照）  
  
参加者：地元ボランティア、漁協関係者、碧南市、国土交通省 豊橋河川事務所  
※その他、当日の参加も大歓迎。
3. 添付資料 別紙資料
4. 解禁 指定なし
5. 撮影 自由
6. 配布先 豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ、岡崎市政記者会、岡崎新聞記者会、
7. 問合せ先 国土交通省豊橋河川事務所管理課長 長嶋 佳孝  
電話 0532-48-8105 FAX0532-48-8100

## オオキンケイギク (キク科, 多年生草本)

●北アメリカ(ミシガン～フロリダ, ニューメキシコ) 原産 / 1880年代に  
 どうにゅう  
 導入

●侵入域: 東北～九州 (水辺国調)

観賞用や緑化植物として持ち込まれたものが野外に定着し、日本各地でみられるようになりました。河川敷や海岸、道ばたなどに生えていて、春～夏にかけて橙黄色の花を咲かせます。

大きな群落をつくることもあり、ほかの植物を追いやってしまう恐れがあります。



オオキンケイギク

茎の<sup>くき</sup>高さは30～70cmになります。葉は茎の下のほうに集まっていて、<sup>あら</sup>荒い毛があります。



オオキンケイギク

オオキンケイギクには、育成された園芸品種が多くみられます。また、オオキンケイギクの仲間の外来植物である、キンケイギクやハルシャギク(左下)も観賞用として日本に持ち込まれてきました。

オオキンケイギク→  
 葉は両面に毛がある。



ハルシャギク

ハルシャギクは河原でよくみられる外来種です。花びらのつけ根が紫褐色で、葉や茎に毛は生えていません。



←ハルシャギク

全体に毛はなく、葉は対生。

